

# アスファルト防水とは？




営業部 発表

磯上 尾野

- ➡ アスファルト防水層とは、
- ➡ 液体状の溶融アスファルトシートやルーフィング材を組み合わせて形成する防水層のことを言います。



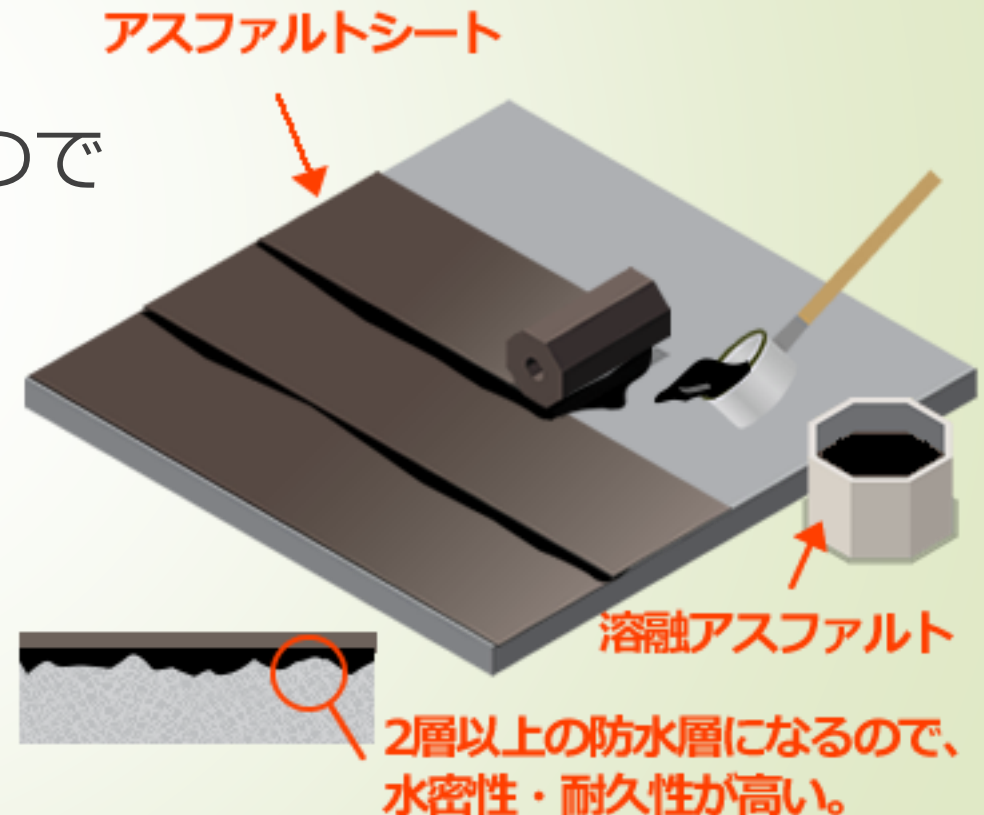
- 
- この溶融アスファルトのことを  
アスファルトコンパウンドと呼び、この中に近年まで  
アスベストが含有されてきました。

下地とアスファルトシートやルーフィング材の  
接着強度を高めるためや粘度を高めるために長年使用  
されてきました。

- 施工方法は固形のコンパウンドを専用の溶融釜で溶かし、接着剤の要領で使用します。

水密性、耐久性が高く  
費用も比較的安価で施工できるので  
人気の工法となっている。

耐用年数は15～20年





←アスファルドコンパウンド  
※溶かす前の固形状態

専用の溶融釜↑→



種類	石綿含有割合 (%)	石綿平均含有割合 (%)	石綿含有製造期間	主たる用途
酢酸ビニル樹脂系溶剤形	～47	23.5	1951～1998	・床材用（木質ビニル）・床組用（根太、支持脚） ・発泡スチロール断熱材用・その他内装用
	～12	6	1999～2003	
ビニル共重合樹脂系	34	34	1960～1990	巾木用
	12～37	24.5	1971～2001	床材用（ビニル用）
エポキシ樹脂系	～42	21	1960～2001	・床材用（木質ビニル）・床組用（根太、支持脚） ・陶磁器質タイル用・土木用（コンクリート補修） ・下水管用
	～6	3	2002～2003	
	～17	—	1975～2002	工業用（電気、電子）
	～4	—	1975～2004	
ウレタン樹脂系	1～7	3.5	1983～2001	床材用（木質ビニル） 床組用（根太、支持脚）
	1～3	1.5	2002～2003	
	2	—	1971～1998	工業用
ゴム系溶剤形	～22	11	1969～1996	床組用（根太） 壁材用（石膏ボード、木質化粧板）
	～2	1	1997～1998	
	1～2	—	?～1996	工業用
ゴム系ラテックス系	2～5	—	1976～1987	陶磁器質タイル用
特殊アスファルトフェルト類	—	—	～1986	—
特殊アスファルトルーフィング類	—	—	～1987	—
ポリウレタン系断熱材の面材	—	—	～1991	—
アスファルト系ルーフコーティング類	—	—	～2002	—
アスファルト系接着剤	—	—	～2003	—

# 1.防水工法の種類と特長

防水種別	防水工法		特徴
アスファルト防水	アスファルト防水 保護工法		アスファルトを浸透・被覆した有機天然繊維製のフェルトやルーフィングを溶解アスファルトにより下地に接着積層し防水層を形成した後、コンクリートやモルタルを表面に打設し防水層を保護する工法です。
	アスファルト防水 露出工法		アスファルトを浸透・被覆した有機天然繊維製のフェルトやルーフィングを溶解アスファルトにより下地に接着積層して防水層を形成し、保護塗料などにより紫外線から防水層を保護する工法です。
	改質アスファルト トーチ工法		合成繊維不織布と改質アスファルトを合わせて作られたルーフィングをトーチバーナーで熱融着し水密性の高い防水層を形成する工法です。
シート防水	ゴムシート防水		加硫ゴムシートを接着剤や固定金具で下地に接着、固定する工法です。仕上げとして専用の保護塗料（トップコート）を塗布して仕上げます。
	塩ビシート防水	密着工法	塩化ビニル樹脂を主原料とし、可塑剤を添加したシートを接着剤や固定金具で下地に接着、固定する工法です。
		機械固定工法	

防水種別	防水工法		特徴
塗膜防水	ゴムアスファルト系塗膜防水		高濃度のゴムアスファルトエマルジョンを専用硬化剤により反応硬化させた塗膜防水材料であり、そこに改質アスファルト系シートを組み合わせ、信頼性の高い積層タイプの複合防水を形成した後、コンクリートやモルタルを表面に打設し、防水層を保護する工法です。
	ウレタン系 塗膜防水	密着工法	液状のウレタン樹脂などの高分子材料を下地に塗布し、防水層を形成する工法です。紫外線からの保護や
		絶縁工法	滑り防止などの目的に応じて専用の保護塗料（トップコート）を塗布して仕上げる工法です。
	アクリルゴム系塗膜防水		液状のアクリル樹脂などの高分子材料を下地に塗布し、防水層を形成する工法です。紫外線からの保護や滑り防止などの目的に応じて専用の保護塗料（トップコート）を塗布して仕上げます。
	ポリマーセメント系塗膜防水		水性樹脂エマルジョンと無機粉体を混合したものを下地に塗布し防水層を形成する工法です。

アスファルト防水 保護工法



アスファルト防水 露出工法  
改質アスファルト トーチ工法



ゴムシート防水



塩ビシート防水



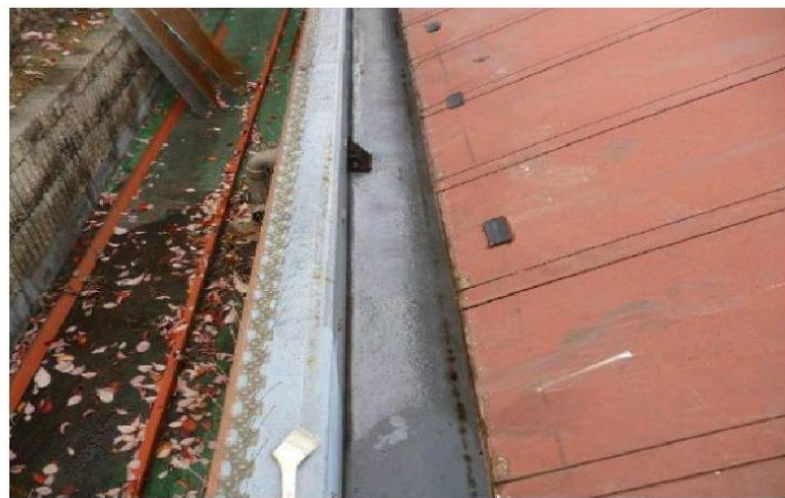
ゴムアスファルト系塗膜防水



ウレタン系塗膜防水



アクリルゴム系塗膜防水



ポリマーセメント系塗膜防水





## ▶ 従来工法

これまでの塗床材の除去にはディスクグラインダーがメインに施工されてきた。

上記の工法は令和3年4月の法改正により、常時隔離養生を行い湿潤状態での施工が義務付けられている。

除去のスピードは1日あたり5㎡前後であった。



## ▶ Hi-jet FP 工法の特徴と比較

超高圧水を使用した工法の為、石綿除去の原理原則である 常時湿潤状態が維持でき、環境面・作業員の安全面にも効果的な工法である。

また、施工スピードは1日あたり100~150m<sup>2</sup> 前後

他工法と異なり個人の技量による施工品質の差が生じにくい 工法でもある。



**一般社団法人**

**Hi-jet アスベスト処理協会**

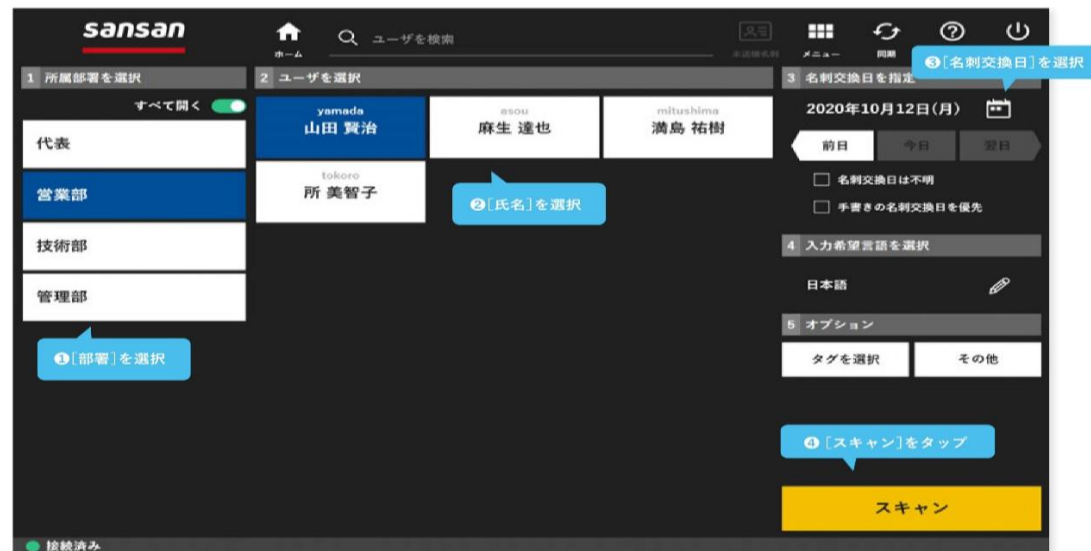


## 名刺をスキャンする

設置が完了したら、まずはご自身で名刺を1枚スキャンしてみましょう。

**1** ①名刺をスキャナーにセットし、スキャナーの隣に設置してあるタッチパネルで部署・氏名などの情報を選択していきましょう。

**2** ①部署名と②氏名を選択、③名刺交換日の設定から名刺交換日を設定し、④[スキャン]で名刺のスキャンを開始しましょう。



タッチパネル画面

### Point 名刺がデータ化されるまで

取込んだ名刺は、平日1日20枚 / IDまであれば翌営業日中にデータ化されます。1日に20枚 / ID以上名刺が取込まれた場合は、ランダムで20枚が翌営業日中にデータ化され、超過枚数分のデータ化完了予定日は翌営業日以降となります。

# Sansanはじめて動画

**sansan**

▶ 🔊 0:01 / 9:32

1x 🖥️ 🗉